

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">所管課</td> <td>健康づくり課</td> </tr> <tr> <td>担 当</td> <td>健康増進G 本村</td> </tr> </table>	所管課	健康づくり課	担 当	健康増進G 本村								
所管課	健康づくり課												
担 当	健康増進G 本村												
会議名 (審議会等名)	令和6年度第2回嬉野市健康づくり推進協議会												
開催日時	令和7年2月20日 14:00～15:00												
開催場所	塩田保健センター2階会議室												
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 <input type="radio"/> 不可 <input type="radio"/> 一部不可												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">傍聴者数</td> <td style="text-align: center;">0 人</td> </tr> </table>	傍聴者数	0 人										
傍聴者数	0 人												
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由													
出席者	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">委 員</td> <td>樋口正晃委員 (会長) 北雄一朗委員 (副会長)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中里栄介委員 (代理) 宮原 昭委員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>田邊章弘委員 川原みさ子委員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山口久義委員 田中恭子委員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>古賀一也委員 松尾尚子委員</td> </tr> <tr> <td></td> <td>諸岡博子委員</td> </tr> </table>	委 員	樋口正晃委員 (会長) 北雄一朗委員 (副会長)		中里栄介委員 (代理) 宮原 昭委員		田邊章弘委員 川原みさ子委員		山口久義委員 田中恭子委員		古賀一也委員 松尾尚子委員		諸岡博子委員
	委 員	樋口正晃委員 (会長) 北雄一朗委員 (副会長)											
		中里栄介委員 (代理) 宮原 昭委員											
	田邊章弘委員 川原みさ子委員												
	山口久義委員 田中恭子委員												
	古賀一也委員 松尾尚子委員												
	諸岡博子委員												
事務局	健康づくり課												
その他	佐賀県血液センター 事業部 献血推進課 献血予防推進係長 内村 聡志氏												
会議の議題	別紙資料のとおり												
配布資料	(1) 献血事業について (実績、課題等)・・・資料1 (2) 令和7年度保健事業計画について・・・資料2												
審議等の内容	別紙のとおり												

審議等の内容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	健康づくり課
議題	内容	(1) 献血事業について(実績、課題等)・・・資料1 (2) 令和7年度保健事業計画について・・・資料2	
内容	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 会長あいさつ 4. 協議 献血について講師による説明、質疑応答 令和7年度について事務局から資料に沿って説明、質疑応答 5. 閉会		
審議経過	委員 講師 委員 講師 委員 講師 委員 講師 委員	<p><献血事業の推進についての質疑></p> <p>杵藤地区の高校での献血実施状況はどうか。</p> <p>健康セミナーというかたちで嬉野高校に受け入れてもらっているが、バスでの献血実施はできていない。</p> <p>少子高齢社会の中で、69歳までが献血できる基準となっているが、実施年齢を引き上げる予定はあるのか。</p> <p>現時点では予定はありません。血液が足りない状況はありますので、今後引き上げられる可能性はあります。</p> <p>献血を实际してみても感じることもある。針が怖いなどのイメージがあるが、飲み物などの景品をもらったのは良かった。</p> <p>献血に協力を頂いた方には、バスの場合はお菓子の詰め合わせや歯磨き粉をプレゼントしています。血液センターでは別のプレゼントを差し上げています。</p> <p>献血をしない理由として、国が調査したアンケートの中で針が怖いは第1位でした。針の大きさは、ピアスを開ける針や爪楊枝よりも小さいことを伝えている。若いうちに体験しないと、怖いイメージはずっと続く傾向にある。</p> <p>嬉野市では年間2回実施しているが、3回すれば協力者が増えるのではないか。</p> <p>400mlが男性は年に3回、女性は年に2回行うことができると決まっているので、女性の年に2回に合わせて、市町でも年に2回実施している。市によっては年に3回実施することもある。1回バスを出すと60人分の血液を確保する必要がある。1回のバスで30人等少ない実施数が続くと医療機関に安定して供給できなくなる。年に3回実施すると1回の協力者数が減るので、慎重にしている。</p>	

